

## 日本義肢装具学会における認定制度について

日頃、日本義肢装具学会の運営にご協力いただき、感謝申し上げます。

すでに学会誌 33 巻 3 号に同封した公告にてお知らせしましたように、日本義肢装具学会では平成 28 年度に「生涯教育ありかた検討委員会」を立ち上げ、生涯教育に関わる制度として認定制度を設置することになりました。これは、一定の条件を満たした会員を対象に、医師および医師以外会員を対象とした資格を日本義肢装具学会が認定するものです。

この認定制度をすみやかに軌道に乗せるため生涯教育ありかた検討委員会で検討を行った結果、下記のように、本年 10 月に行われる第 33 回日本義肢装具学会学術大会から、教育講演等の受講による研修単位登録を開始するとともに、社員の中の希望者を対象に移行措置として認定を行うための研修会を実施することに致しました。

### 記

#### 1) 認定制度の概要

認定制度の詳細については、生涯教育ありかた検討委員会で検討を進めています。認定する資格の名称は、医師に関しては「義肢装具専門医」、医師以外に関しては「日本義肢装具学会認定士」とする予定です。詳細な制度設計に関しては、現在関連する学会や団体と協議を進めています。資格の取得や更新のために、研修単位の取得を利用する他、講習会の受講、試験の受験などを想定しています。

#### 2) 第 33 回日本義肢装具学会学術大会における教育講演の受講による研修単位登録

##### (全会員対象)

以下の 3 つの教育講演について、1 つの受講毎に 1 単位を付与する予定です。受講の確認と記録は、紙ベースで行います。受講確認の用紙に、会員番号の記入欄を設けますので、あらかじめご確認の上受講するようお願い申し上げます。なお、第 33 回学術大会に関しては、研修講演の受講に伴う単位認定に、費用はかからないことと致します。

##### 【対象となる教育講演】

教育講演 1 : 2017 年 10 月 8 日 (日) 10 : 05 ~ 11 : 05

Overview of Upper Limb Prosthetic Rehabilitation and Treatment  
- a Multi-disciplinary Approach

義手のリハビリテーションと治療 ~その集学的アプローチについて~

Sandra Ramdial (Holland Bloorview Kids Rehabilitation Hospital)

Lisa Artero (Holland Bloorview Kids Rehabilitation Hospital)

教育講演 2 : 2017 年 10 月 8 日 (日) 15 : 00 ~ 16 : 00

Myoelectric and Activity Specific Prostheses with Prosthetic Training for

### Successful Outcomes Approach

成功に導くための義肢のリハビリテーション  
～筋電義手とアクティビティに合わせた義手～

Sandra Ramdial (Holland Bloorview Kids Rehabilitation Hospital)

Lisa Artero (Holland Bloorview Kids Rehabilitation Hospital)

教育講演 3 : 2017 年 10 月 9 日 (月) 10 : 00 ~ 11 : 30

ロボット技術を活用した機器のこれから - 高齢化社会への利活用 -

小林 毅 (厚生労働省老健局高齢者支援課)

### 3) 第 33 回日本義肢装具学会学術大会における社員の希望者を対象とした移行措置 (社員のみ対象)

現時点の社員のうち、認定制度による認定を移行措置により取得することを希望する社員は、2) にあります研修単位を 1 単位以上取得した上で、学術大会二日目に行う移行措置のための講習会を完全受講することで、認定を受けることができます。この講習会の受講に関しては、事前登録等を行いませんので、受講希望者は当日直接会場において下さい。この講習会の受講ならびに認定には費用がかかりません。また、移行措置のための講習会は、来年の学術大会でも行う予定にしています。

なお、移行措置による認定を受けた社員に関しては、今後認定制度の構築に関する WG 等に協力して頂く可能性がありますので、ご了承下さい。

#### 【義肢装具専門医・日本義肢装具学会認定士の認定のための講習会】

日時 : 2017 年 10 月 9 日 (月) 12 : 00 ~ 14 : 00

会場 : 第 4 会場 (TFT ビル 9 階 研修室 909)

内容 :

1. 義肢装具の認定制度の考え方 (仮題) : 芳賀信彦
2. 最新の義肢の考え方 (仮題) : 野坂利也
3. 最新の装具の考え方 (仮題) : 浅見豊子

\* 終了後に確認テストを行います。

以上